

## 2009 年度事業報告書

KDDI 財団の 2009 年度事業計画は、合併契約書第 13 条（※）の規定に基づき、次のものとし、合併に伴い各呼称を適宜変更し、次葉以下の通り実施致しました。

- ◎ 旧（財）国際コミュニケーション基金（以下、「旧 ICF」という）の 2009 年度事業計画：2008 年 3 月の旧 ICF 理事会で機関決定されたもの
- ◎ 旧（財）KDDI エンジニアリング・アンド・コンサルティング（以下、「旧 KEC」という）の 2009 年度の事業計画：2008 年 3 月の旧 KEC 理事会で機関決定されたもののうち、合併時に未実施のもの

なお、2009 年度決算報告も、上記と同じ根拠に基づいたものとなっております。

### （※） 合併契約書第 13 条 業計画および収支予算

本合併を含む会計年度の [ 存続財団である ] 甲 [ ICF。名称変更して KDDI 財団 ] の事業計画および収支予算書は、乙 [ KEC ] の年度当初の事業計画および収支予算のうち本合併時に未実施のものを甲 [ ICF ] の年度当初の事業計画および収支予算に加えたものとする。

[ ] 内は、補足説明のために便宜的に仮挿入した語彙

### 【参考】

●旧 ICF（存続財団）の 2009 年度事業計画および収支予算は「維持・継続」とし、KDDI 財団の初年度計画の基礎となっている。

●旧 KEC（消滅財団）の 2009 年度事業計画および収支予算は合併前（上期末）で決算の上、事業計画については継続（未完了）分を、また、収支については前期繰越金を、旧 ICF の事業計画および収支予算に、それぞれ「追加・加算」している。

旧 ICF 事業計画／収支予算（2009 年度通期） → KDDI 財団初年度計画の基礎として「維持・継続」

旧 KEC 事業計画／収支予算（上半期）

（追加・加算）

（決算、繰越金として処理）

旧 KEC 事業計画／収支予算（下半期）

上半期末繰越金

2009年度におきましては、期中の10月1日に（旧）国際コミュニケーション基金（ICF）を存続財団、（旧）KDDIエンジニアリング・アンド・コンサルティング（KEC）を消滅財団とした合併を行い、各々の事業を承継した「KDDI財団」が発足しました。当財団の主たる事業である助成・援助事業、国際協力事業、ICT普及事業、コンサルティング事業については、2009年度通年として以下のとおり実施いたしました。

## I 組織と運営状況

### (1) 役員・評議員

役員は10名〔別紙1：役員名簿〕、評議員は15名〔別紙2：評議員名簿〕です。

### (2) 審査委員・選考委員

審査委員は10名〔別紙3：審査委員名簿〕、選考委員は3名〔別紙4：選考委員名簿〕です。

### (3) 会議の開催状況

理事会を4回、評議員会を4回、審査委員会を2回、選考委員会を1回、それぞれ開催しました。〔別紙5：会議の開催〕

## II 事業活動

### 1. 調査研究、助成・援助、表彰事業

#### (1) 調査研究事業

推薦に基づく募集・選考の結果、『研究奨励金』は、別紙6のとおり6件について合計1,200万円の助成を行いました。

#### (2) 助成・援助事業

##### ① 調査研究助成

公募による募集・審査の結果、『調査研究助成』は、49件の申請に対し、別紙7のとおり11件につき合計2,200万円の助成を行いました。

##### ② 国際会議開催助成

公募による募集・審査の結果、『国際会議開催助成』は、20件の申請に対し、別紙8のとおり10件につき合計800万円の助成を行いました。

### ③ 社会的・文化的諸活動助成

公募による募集・審査の結果、『社会的・文化的諸活動助成』は、34 件の申請に対し、別紙 9のとおり 11 件につき合計 800 万円の助成を行いました。

### ④ 外国人留学生助成

情報通信関連の研究を進めている大学に推薦を依頼し、93 名の候補から別紙 10のとおり 11 名（理系 8 名、文系 3 名）を選考し、合計 1,890 万円の助成を行いました。

### ⑤ 自主企画型助成

#### 1) 青少年夏休み科学実験教室

8 月上旬、次の 3 大学に於いて中学生・高校生を対象として実施された実験プログラムに対して助成を行いました。

- ◎ 東北大学（たのしいサイエンス・サマースクール／中学生 43 名）200 万円
- ◎ 名古屋大学（テクノフロンティアセミナー／高校生 42 名）130 万円
- ◎ 九州大学（中学生の科学実験教室／中学生 69 名）200 万円

#### 2) 情報通信政策に関する研究への助成

情報通信産業の分野に於ける指導的研究者が中心となって設立されたた団体「情報通信政策研究プログラム」に対し、200 万円の助成を行いました。

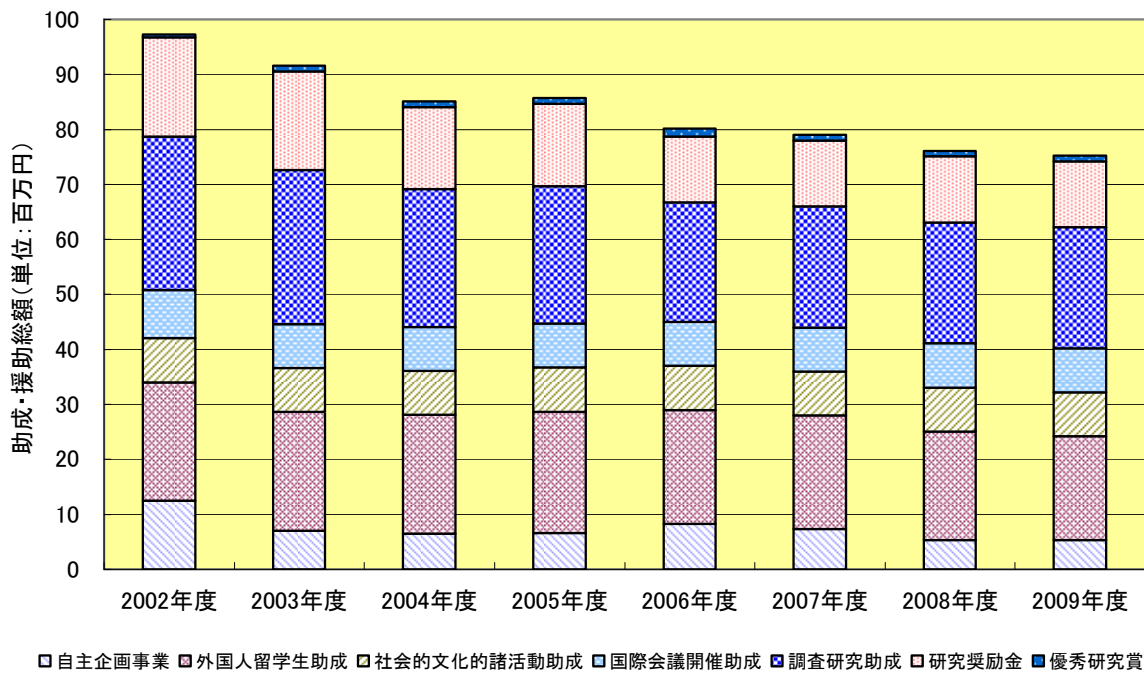
### (3) 表彰事業

当財団の助成／奨励金を受けて実施された研究のうち、特に成果が顕著なものを表彰するこの事業では、7 件の応募に対し、別紙 11のとおり 2 件に優秀研究賞（賞金各 50 万円）を選考し表彰しました。

### (4) その他（機関誌の発行）

財団の事業内容および活動状況を広く周知・宣伝するため、機関誌『KDDI Foundaton』第 1 号を発行し、大学・研究機関および各地の国際交流協会等に宛て、合計約 1,800 部を配布しました。

【参考】助成・援助総額の推移（2002年度～2009年度）



(単位:百万円)

	自主企画事業	外国人留学生助成	社会的文化的諸活動助成	国際会議開催助成	調査研究助成	研究奨励金	優秀研究賞	合計
2002年度	12	22	8	9	28	18	1	97
2003年度	7	22	8	8	28	18	1	92
2004年度	7	22	8	8	25	15	1	85
2005年度	7	22	8	8	25	15	1	86
2006年度	8	21	8	8	22	12	2	80
2007年度	7	21	8	8	22	12	1	79
2008年度	5	20	8	8	22	12	1	76
2009年度	5	19	8	8	22	12	1	75

2. 国際協力事業

(1) 研修事業

開発途上国における電気通信の改善・拡充を担う人材育成のために、政府計画および国際機関計画等に基づき JICA 課題別研修ならびに APT 個別研修を実施しました。また、2006 年度に設立した「国際協力活動基金」による冠研修を実施しました。

年間では、7 コースを実施し、延べ 52 ヶ国から 60 名の研修生を受け入れ、延べ 126 日間の研修を実施しました。(詳細：別紙 12)

① JICA 研修

2 つの課題別研修（「衛星通信技術コース」、「光ファイバーケーブル技術コース」）を実施しました。

## ② APT 研修

4つのAPT研修（「モバイル通信技術コース」、「ブロードバンド通信のための情報セキュリティ構築コース」、「衛星通信技術コース」、「光ファイバー伝送技術コース」）を実施しました。

## ③ 冠研修

「国際協力活動基金」を活用し、APTに対し特別拠出を行い、これにより「モバイル通信サービス」の冠研修を実施しました。前2項の政府計画および国際機関計画に基づく研修と異なり、当財団の途上国支援活動の一環として実施したものです。

## (2) 途上国支援 [別紙13：2009年度途上国支援活動の実施状況]

### ① チャリティコンサート

2009年秋のICFとKEC両財団の合併を記念し、また財団活動のひとつの柱である「国際協力・途上国支援」の一環としてこれまでKECで実施してきたコンサートを継承する形で、通算6回目となる「チャリティ コンサート クラシック2010（2010年2月22日、紀尾井ホール）」を開催しました。このコンサートからの収益金は、前回同様、NGO「Japan Relief for Cambodia」に寄附し、第6校目となるカンボジア学校建設に活用していく予定です。

### ② カンボジアにおける学校建設

第5回チャリティ コンサート（2009年2月4日、紀尾井ホール）からの収益金にKDDIからの協賛金、その他寄付金を加え、総額US\$39,500を、NGO「Japan Relief for Cambodia」に寄付しました。同NGOはこの資金を原資としてカンボジアのルーラル地域に同国第5番目となるKDDI学校を建設しました。学校は、アンコールワットで有名なシェムリアップ近郊に位置し、「チョップKDDI学校」と命名され、2010年3月3日に開校式が行われました。

当財団では学校校舎の建設のみならず、インターネット用小型衛星通信装置（VSAT）ならびに自家発電設備を設置するとともに英語/パソコン教師を派遣し、この学校へ通学する250余名の生徒たちへのICT教育環境も整えました。

### ③ NPO支援

国際協力活動を幅広く展開するNPOの活動支援を目的に、2006年度に設立した「国際協力活動基金」を活用して通信インフラ（ウェブサーバ、ブログサーバなど）運用の資金ならびに技術支援を継続実施しました。2009年度は、3団体への支援を実施し、支援先と、その内容は以下のとおりです。

#### 1) ジャパンプラットフォーム

(WEB、BLOG)

#### 2) NICCO

(WEB、DNS、Google 独自ドメイン利用メールサーバ)

#### 3) レインボー・ブリッジ・プロジェクト

(WEB、DNS、コミュニティウェア)

### 3. ICT普及事業 [別紙14：2009年度ICT普及事業の実施状況]

2009年度は、前年度に引き続き「MCPCモバイルシステム技術検定試験<sup>(注)</sup>対策講習会」を春、秋の計2回実施しました。また、個別企業向けにも講習会を実施しました。2009年度は、大学他に練習問題を提供する等、ICT普及活動の内容拡充を図っています。

延べ受講者数は、春の一般向け126名、個別講習17名、秋の一般向け79名、個別講習148名となり、年間受講者数は合計370名でした。

(注) MCPC モバイルシステム技術検定試験とは、MCPC (モバイルコンピューティング推進コンソーシアム：通信キャリア、コンピュータハードメーカ・ソフトメーカ、システムインテグレータなどモバイルコンピューティングに関連する企業168社で構成) が主催する業界標準となる技術検定制度です。

### 4. コンサルティング事業

#### (1) 海外に於けるコンサルティング

ODAに基づく開発途上国向けプロジェクトは、前年度からの継続案件(2件)をベトナム国およびカンボジア国において実施し、2件とも次年度へ継続となりました。(詳細 別紙15)

#### (2) 国内に於けるコンサルティング

「超高速インターネット衛星国際業務」に関する公的機関の案件を1件、および、「船舶ブロードバンドシステム関連業務」に関する民間会社からの案件を1件実施し、当該年度内に終了しました。また、「IPSTAR衛星の日本における電波免許取得」に関する民間会社からの案件を1件実施し、次年度へ継続となりました。

以 上

## 役員名簿

(敬称略・理事は五十音順)

(2010年3月31日現在)

財団役職	氏名	所属・職位
理事長	伊藤 泰彦	KDDI 株式会社 顧問
専務理事	赤澤 秀樹	
理事	伊藤 洋子	株式会社系 代表取締役
理事	大山 俊介	KDDI 株式会社 執行役員
理事	佐々木 かをり	株式会社イー・ウーマン代表取締役 社長
理事	土佐 和生	甲南大学法科大学院 教授
理事	中村 伊知哉	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
理事	樋口 泰行	マイクロソフト株式会社 代表執行役社長
理事	ピーター・D・ ピーダーセン	株式会社 イースクエア 代表取締役社長
監事	松永 幸廣	京都監査法人 マネージング・パートナー 公認会計士

## 評 議 員 名 簿

(敬称略・五十音順)

(2010年3月31日現在)

氏 名	所属・職位
天野 定功	KDDI 株式会社 代表取締役副会長
有富 寛一郎	財団法人マルチメディア振興センター 理事長
氏家 純一	野村ホールディングス株式会社 取締役会長
内海 善雄	株式会社トヨタ IT 開発センター 最高顧問
岡 素之	住友商事株式会社 代表取締役会長
沖原 隆宗	株式会社三菱東京 UFJ 銀行 取締役副会長
小野寺 正	KDDI 株式会社 代表取締役社長兼会長
角川 歴彦	株式会社角川グループホールディングス 代表取締役会長兼 C. E. O.
姜 尚中	東京大学情報学環 教授
草野 耕一	西村あさひ法律事務所 代表パートナー 弁護士
菅谷 実	慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所 教授
土井 美和子	株式会社東芝 研究開発センター 首席技監
永井 研二	日本放送協会 専務理事技師長
林 敏彦	放送大学大学院文化科学研究科 教授
藤原 まり子	株式会社博報堂 生活総合研究所 客員研究員

## 審査委員名簿

(敬称略・委員は五十音順)

(2010年3月31日現在)

氏名	所属・職位	専門分野
委員長 濱田 純一	東京大学 総長	情報法、情報政策
委員 秋葉 重幸	KDDI 株式会社 執行役員	
川又 政征	東北大学大学院工学研究科 教授	デジタル信号処理
喜連川 優	東京大学生産技術研究所 教授	データ工学
佐藤 亨	京都大学大学院情報学研究所 教授	電波応用光学
佐藤 治正	甲南大学マネジメント創造学部 教授	政府規制の経済学
東條 吉純	立教大学法学部 教授	国際経済法、経済法
中村 功	東洋大学社会学部 教授	社会心理学
馬場 俊彦	横浜国立大学工学研究院 教授	応用光学、電子デバイス
森田 啓義	電気通信大学大学院情報システム学研究科 教授	情報データ解析

## 選考委員名簿

(敬称略・委員は五十音順)

(2010年3月31日現在)

氏名	所属・職位	専門分野
委員長 安田 豊	KDDI 株式会社 執行役員	
委員 小澤 太郎	慶應義塾大学総合政策学部 教授	公共選択論、情報通信経済論
佐藤 誠	東京工業大学精密工学研究所 教授	ヒューマンインターフェイス、 VR コンピュータビジョン

## 会議の開催状況

## 1. 理事会

## (1) 旧国際コミュニケーション基金 (ICF)

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 77 回	2009 年 6 月 19 日	(議案) 1. 2009 年度国際コミュニケーション研究奨励金の対象 2. 評議員の交替 [NHK 後藤雅実氏⇒永井研二氏] 3. 合併に係る利益相反取引の承認 4. 財団法人 KDDI エンジニアリング・アンド・コンサルティングとの合併契約書の承認 5. 2008 年度事業報告 6. 2008 年度決算報告

## (2) 旧 KDDI エンジニアリング・アンド・コンサルティング (KEC)

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 140 回	2009 年 6 月 3 日	(議案) 1. 合併に係る利益相反取引の承認 2. 財団法人国際コミュニケーション基金との合併契約書の承認 3. 2008 年度事業報告 4. 2008 年度決算報告 (報告) 1. 役員および評議員の辞任

## (3) KDDI 財団

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 1 回	2009 年 11 月 16 日	(議案) 1. 2009 年度事業計画 2. 2009 年度収支予算 3. 資産運用管理規程 4. 特別基金管理規程 5. 優秀研究賞受賞対象者
第 2 回	2010 年 3 月 18 日	(議案) 1. 助成・援助事業特別基金の取り崩し 2. 2010 年度事業計画 3. 2010 年度収支予算 4. 2009 年度助成・援助の対象および対象者 (報告) 1. KDDI 財団が保有する JAL 債のデフォルト

## 2. 評議員会

### (1) 旧国際コミュニケーション基金 (ICF)

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 47 回	2009 年 6 月 30 日	(議案) 1. 合併に係る利益相反取引の承認 2. 財団法人 KDDI エンジニアリング・アンド・コンサルティングとの合併契約書の承認 3. 2008 年度事業報告 4. 2008 年度決算報告

### (2) 旧 KDDI エンジニアリング・アンド・コンサルティング (KEC)

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 99 回	2009 年 6 月 3 日	(議案) 1. 合併に係る利益相反取引の承認 2. 財団法人国際コミュニケーション基金との合併契約書の承認 3. 2008 年度事業報告 4. 2008 年度決算報告 (報告) 1. 役員および評議員の辞任

### (3) KDDI 財団

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 1 回	2009 年 11 月 16 日	(議案) 1. 2009 年度事業計画 2. 2009 年度収支予算 (報告) 1. 資産運用管理規程 2. 特別基金管理規程 3. 優秀研究賞受賞対象者
第 2 回	2010 年 3 月 18 日	(議案) 1. 2010 年度事業計画 2. 2010 年度収支予算 (報告) 1. 2009 年度助成・援助の対象および対象者 2. KDDI 財団が保有する JAL 債のデフォルト

### 3. 審査委員会

開催年月日	議案・報告事項
2009年9月30日	(議題) 1. 優秀研究賞の審議 2. 助成・援助の審査について
2010年2月4日	(議題) 1. 助成・援助の総合審査

### 4. 選考委員会

開催年月日	議案・報告事項
2009年5月22日	(議題) 1. 研究奨励金推薦書の審査

## 研究奨励金

研究課題名	調査研究代表者	研究時期 (期間)	贈呈額 (千円)
環太平洋地域におけるデジタル・デバイスに関する研究	駒澤大学 グローバル・メディア・ スタディーズ学部 准教授 西岡 洋子	2009. 7. 1～ 2012. 3. 31 (2年9カ月)	2,000
高スループットを実現する符号化変調 および再送方式に関する研究	横浜国立大学大学院 工学研究院 准教授 落合 秀樹	2009. 7. 1～ 2012. 6. 30 (3年間)	2,500
情報通信の公益事業としての再定位： 自由化下におけるユニバーサルサー ビスにみる競争と公益のありかた	東海大学 法学部法律学科 専任講師 青柳 由香	2009. 7. 1～ 2011. 6. 30 (2年間)	1,000
対話の空気を作り出すバーチャルクリ ーチャ	電気通信大学 電気通信学部 知能機械工学科 准教授 長谷川 晶一	2009. 7. 1～ 2012. 6. 30 (3年間)	2,500
情報流の価値計測における消費者評価 手法導入に関する基礎的研究	秀明大学 英語情報マネジメント学部 講師 大塚 時雄	2009. 7. 1～ 2012. 6. 30 (3年間)	1,500
省電力ネットワーク実現のためのスロ ット型 Si 細線光導波路の機能集積化の 研究	東北大学大学院 工学研究科 助教 北 智洋	2009. 7. 1～ 2011. 6. 30 (2年間)	2,500
		合 計	12,000

## 調査研究助成

調査研究のテーマ	調査研究代表者	研究時期 (期間)	助成額 (千円)
モバイルマネーの普及が ケニア牧畜民社会に及ぼす影響	弘前大学 人文学部 准教授 羽瀨 一代	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	2,900
シェンゲン情報システムの現状と課題	北海道大学 公共政策大学院 准教授 鈴木 一人	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	1,200
両面市場から見た FMC サービスの研究	京都大学大学院 経済学研究科 教授 依田 高典	2010. 4. 1～ 2013. 3. 31 (3年間)	2,000
情報通信を利用した国際的知的財産権 侵害	名古屋大学大学院 法学研究科 教授 鈴木 将文	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	1,600
光の空間位相を利用した高速多次元情 報処理の実現	北海道大学大学院 工学研究科 准教授 戸田 泰則	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	1,200
高度変調方式に適用可能な広帯域光波 長変換	電気通信大学 先端領域教育研究センター 特任助教 松浦 基晴	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	2,400
金属原子層共鳴散乱通信のための基礎 研究	情報・システム研究機構 国立極地研究所 教授 中村 卓司	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	2,300
光パルス合成による光通信網の効率的 利用法	東京農工大学 大学院共生科学技術研究院 先端電気電子部門 助教 柏木 謙	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	2,100
非接触給電によるワイヤレスメモリの 研究	岩手大学工学部 電気電子・情報システム工学科 准教授 本間 尚樹	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	1,800
光電界複素振幅波形の実時間測定技術	東京大学大学院 工学系研究科 講師 五十嵐 浩司	2010. 4. 1～ 2011. 3. 31 (1年間)	2,700
Practical Aspects of Channel Estimation in Relay-assisted Wireless Networks	東北大学 工学研究科 助教 ガチャニン ハリス	2010. 4. 1～ 2012. 3. 31 (2年間)	1,800
		合 計	22,000

## 国際会議開催助成

会議の名称	主催団体名	実施時期 場所	助成額 (千円)
第 18 回ネットワークとプロトコルに関する国際会議 The 18th IEEE International Conference on Network Protocols (IEEE ICNP 2010)	IEEE Computer Society	2010. 10. 5～ 10. 8 京都	900
第 13 回日独シンポジウム 13th German-Japanese symposium (GJS 2010)	社団法人 電子情報通信学会	2010. 9. 13～ 9. 14 大阪	850
世界自動化会議 World Automation Congress (WAC)	World Automation Congress (WAC) & TSI, USA	2010. 9. 19～ 9. 23 神戸	850
第 15 回先進的アプリケーションのためのデータベースシステムに関する国際会議 The 15th International Conference on Database Systems for Advanced Applications (DASFAA 2010)	筑波大学、日本データベース学会	2010. 4. 1～ 4. 4 つくば	900
マドリッド大会における「情報通信とマーケティングコミュニケーション」研究のシンポジウム International Conference on Research in Advertising (ICORIA)	第9回 ICORIA マドリッド大会運営委員会	2010. 6. 24～ 6. 26 マドリッド	650
アジア南太平洋設計自動化会議 2011 ASP-DAC 2011 (Asia and South Pacific Design Automation Conference 2011)	ASP-DAC 2011 組織委員会 IEEE CASS, ACM SIGDA、情報処理学会システム LSI 設計技術研究会、電子情報通信学会基礎・境界ソサイエティ	2011. 1. 25～ 1. 28 横浜	800
2010 年アジア・太平洋電波科学会議 2010 Asia-Pacific Radio Science Conference (AP-RASC' 10)	国際電波科学連合 (International Union of Radio Science : URSI) 電子情報通信学会	2010. 9. 22～ 9. 26 富山	800
7th International Conference on Optics-photonics Design & Fabrication (ODF ' 10 Yokohama)	日本光学会 (応用物理学会) 光設計研究グループ	2010. 4. 19～ 4. 21 横浜	600
第 22 回半導体レーザ国際会議 The 22nd IEEE International Semiconductor Laser Conference (ISLC2010)	第 22 回半導体レーザ国際会議組織委員会	2010. 9. 26～ 9. 30 京都	850
計算機と情報科学に関する国際会議	計算機と情報科学に関する国際会議実行委員会	2010. 8. 18～ 8. 20 山形	800
		合 計	8,000

## 社会的・文化的諸活動助成

活動の名称	主催する団体名	実施時期/場所	助成額 (千円)
アンドリーニヤ教室	CSN(College Student Network for Community Service) 浜松	2010. 5. 1～ 2011. 3. 31 浜松	160
第 62 回日米学生会議 The 62nd Japan-America Student Conference	財団法人 国際教育振興会	2010. 7. 26～ 8. 21 アメリカ	800
産学連携・東洋大学インターネット放送局事業	産学連携・メディア教育プロジェクト	2010. 4. 1～ 2011. 3. 31 東京、埼玉、オンライン上	760
ビルマ（ミャンマー）問題の解決に向けて-情報の整理とデータベース化プロジェクト	日本ビルマ救援センター（BRC-J）	2010. 4. 1～ 10. 30 大阪	400
「アジアを飛び交う日本語交流《平和・文化・友情》を語る虹の架け橋」	国際教育センター	2010. 4. 1～ 2011. 9. 30 アジア太平洋地域	1,000
「私の見た日本と日本人」のテーマでのエッセーコンテスト	特定非営利活動法人 中日交流誌	2010. 4. 1～ 2011. 9. 30 中国	720
まちんと-子どもたちによる平和の絵本-	特定非営利活動法人 グローバルプロジェクト推進機構	2010. 4. 1～ 2011. 3. 31 日本、カナダ、アメリカ、ケニア他	950
Family Happiness Project:国際相互理解を通じた家族相互理解向上計画	中部 BQOE 研究会	2010. 4. 1～ 2011. 3. 31 日本、スリランカ（他アジア諸国）	850
外国人観光客を対象に原材料ピクトグラム協賛企業を紹介する多言語ポータルサイト構築	特定非営利活動法人インターナショナル	2010. 4. 1～ 2011. 9. 30 大阪・京都	600
地域発信ハンドメイドプログラムによる”グローバル”体験学習ツアー	特定非営利活動法人ワールドキャンパスインターナショナルインコーポレーテッド	2010. 6. 5～ 8. 30 水戸、取手、我孫子、多摩、上田他	810
社会的投資プラットフォームの構築、及び IT を活用した相互コミュニケーションの促進	Social Investment Fund for Cambodia (SIFC)	2010. 4. 1～ 2011. 3. 31 日本、カンボジア	950
		合 計	8,000

## 外国人留学生助成

所属氏名	研究課題名	助成期間	助成金額 (千円)
大阪大学 高等司法研究科 修士課程 1年 姚 綺(Yao Qi) 中国	経済活動における情報電子化と 法制度	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
横浜国立大学 環境情報学府 修士課程 1年 栗 洋(Li Yang) 中国	中国における ICT 技術を利用した 環境低負荷社会の実現に関する 研究	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
東京大学 学際情報学府 修士課程 2年 安 信亨 (Ahn Shin Hyung) 韓国	コミュニケーション技術の発 展・拡散を通じての東アジア地域 の超国家的環境協力	2010. 4. 1～ 6 カ月間	1,800
東京工業大学 情報理工学研究科 博士課程 3年 Sapaico Valera, Luis Ricardo ペルー	Human-Computer Instruction using the tongue, for Accessibility	2010. 4. 1～ 12 カ月間	900
福井大学 工学研究科 修士課程 2年 周 小凡(Zhou Xiao Fan) 中国	進化型アリコロニー最適化アル ゴリズムに関する研究	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
東京大学 工学系研究科 修士課程 2年 Eid, Mohamad Samir Abdelrahman エジプト	A Coordinated Defense Mechanism Against DDoS Network Attacks	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
長岡技術科学大学 工学研究科 修士課程 1年 Amaratunga, Tharanga Sandaruwan スリランカ	Global Injury Surveillance System	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
名古屋工業大学 工学研究科 修士課程 2年 李 聡(Li Cong) 中国	マルチユーザ MIMO ダウンリンク 無線伝送に関する検討	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
千葉大学 工学研究科 博士課程 1年 宮 兆喆(Gong Zhao Zhe) 中国	Speed-up of Computer Generated Hologram Using Cell Broad Engine	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
北海道大学 法学研究科 修士課程 2年 顧 日斤 (Gu Xin) 中国	著作物の利用を誘発するシステ ムを提供する者の著作権間接侵 害問題—P2P 技術のソフトを例と して分析する。	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
豊橋技術科学大学 工学研究科 修士課程 1年 Nguyen, Anh Tuan ベトナム	RF-CMOS 無線通信回路とオンチ ップアンテナを一体化した多機能 集積型ユビキタス・スマートマイ クロセンサの開発	2010. 4. 1～ 12 カ月間	1,800
		合 計	18,900

## KDDI 財団優秀研究賞贈呈対象

所 属 氏 名	研 究 テーマ
大阪大学大学院情報科学研究科 准教授 原 隆浩	無線ネットワーク上のデータ管理機構の研究
奈良先端科学技術大学院大学 教授 河口 仁司	光通信波長帯光RAMに関する国際共同研究

## 海外研修事業の実施状況

	契約先	コース名	参加国数/人数	期間
課題別研修	JICA (政府計画)	衛星通信技術	3カ国/4名	2009年5月11日 ～6月19日
		光ファイバー ケーブル技術	4カ国/5名	2009年11月10日 ～12月11日
個別研修	総務省 (APT計画 J1)	モバイル通信技術	8カ国/11名 (APT加盟国)	2009年10月20日 ～10月30日
		ブロードバンド通信の ための情報セキュリティ構築	11カ国/11名 (APT加盟国)	2009年11月4日 ～11月13日
		衛星通信技術	11カ国/11名 (APT加盟国)	2010年1月19日 ～1月29日
		光ファイバー伝送技術	8カ国/8名 (APT加盟国)	2010年2月2日 ～2月12日
その他	国際協力活動 基金からの 拠出による 自主研修	モバイル通信サービス	7カ国/10名 (APT加盟国 賛助会員)	2010年3月2日 ～3月12日

## 途上国支援活動の実施状況

## (1) 「チャリティコンサートクラシック2010」実施概要

	概 要
目的	チャリティのためのクラシックコンサートを開催し、KDDI 財団の名称とその活動を広く一般に知らしめるとともに、チャリティとして集めた資金をもって途上国（カンボジア）に学校を寄贈する。
日時	2010年2月22日（月）19：00開演
会場	紀尾井ホール（千代田区紀尾井町）
出演者	ホラーク井上道子（チェンバロ） 田中一嘉（指揮）／N響団友弦楽アンサンブル
曲目	バッハ／ブランデンブルク協奏曲第3番、チェンバロ協奏曲第1番 バーバー／弦楽のためのアダージョ チャイコフスキー／弦楽セレナード
協賛等	協賛：KDDI 株式会社 後援：カンボジア大使館、(NGO)Japan Relief for Cambodia
来場者数	約700名
収益金の使途	収入約400万円は、NGO Japan Relief for Cambodia に寄付。この資金をもって、カンボジア ルーラル地域に学校舎1棟を建設するとともに ICT教育を可能とする環境を整える。

## (2) カンボジアにおける学校建設寄付された学校の概要

	概 要
学校名	The Chop KDDI School(チョップ KDDI スクール)
所在地	カンボジア シェムリアップ郊外 チョップ村
教室数	5 教室
その他の設備	パソコン、インターネット接続用の小型衛星通信装置、自家発電装置
生徒数	約250名
開校式	2010年3月3日

## ICT 普及事業の実施状況

(MCPC モバイルシステム技術検定試験対策講習会)

	種別	コース名	参加人数 (延べ数)	実施日
春 期	一般	MCPC モバイルシステム技術 検定 1 級試験対策講習会	100 名	2009 年 5 月 17 日 (日) 5 月 23 日 (土) 5 月 24 日 (日)
		MCPC モバイルシステム技術 検定 2 級試験対策講習会	26 名	2009 年 5 月 30 日 (土) 5 月 31 日 (日)
	個別	SMC 対策講習会	17 名	2009 年 6 月 25 日 (木)
秋 期	一般	MCPC モバイルシステム技術 検定 1 級試験対策講習会	52 名	2009 年 10 月 18 日 (日) 10 月 24 日 (土) 10 月 25 日 (日)
		MCPC モバイルシステム技術 検定 2 級試験対策講習会	27 名	2009 年 10 月 31 日 (土) 11 月 1 日 (日)
	個別	MCPC モバイルシステム技術 検定 1 級試験対策講習会	36 名	2009 年 10 月 5 日 (月) 10 月 6 日 (火) 10 月 7 日 (水)
		MCPC モバイルシステム技術 検定 2 級試験対策講習会	100 名	2009 年 10 月 19 日 (月) 10 月 20 日 (火)
		SMC 対策講習会	12 名	2009 年 12 月 3 日 (木)

## 海外コンサルティング事業の実施状況

<p>a. ベトナム国南北海底光ケーブル敷設計画（円借款）</p> <p>交換公文締結日 2003年 3月 31日</p> <p>契約締結日 2004年 11月 24日</p>	<p>2004年度に、(財)海外通信放送コンサルティング協力(JTEC)と共同で、ベトナム郵便通信公社(VNPT)とコンサルティング業務を契約した。本コンサルティング業務契約に基づき、製造業者選定のための国際競争入札価格提案書の評価作業、及び、価格提案書評価報告書の作成を実施した。本件は、2010年度へ継続される。</p>
<p>b. カンボジア国メコン地域通信基幹ネットワーク整備事業（円借款）</p> <p>交換公文締結日 2005年 3月 25日</p> <p>契約締結日 2007年 8月 31日</p>	<p>2007年度に、株式会社アイエスインターナショナルと共同で、カンボジアテレコム(TC)とコンサルティング業務を契約した。入札開始の条件となっている通信規制機関(Telecom Regulator of Cambodia: TRC)の設立が未了なため、入札が保留されている。本件は、2010年度へ継続される。</p>

以上